

### 小児への新型コロナウイルス ワクチンは慎重に

齋藤康夫  
(参政党)

令和4年の合計死亡者数は令和2年と比べコロナ関連死者数を除いて約16万人増加している。広島原爆による死者数に匹敵する。ワクチン接種の3回目、4回目、5回目の接種数グラフの3つの山は超過死亡数のグラフの3つの山と時期、形状がほぼ一致している。原因究明はされていないので、この理由はコロナワクチンの副反応の可能性を否定できず、コロナで亡くなる方よりワクチンで亡くなる方のほうが多いという可能性があるとみえる。



### 学校給食費無償化を より良い介護保険制度に

たゆ久貴  
(日本共産党)

全国及び都内で学校給食費無償化が進んでいる。都内ではすでに21区1市5町村にまで実施及び実施予定である(質問時点)。多摩格差と言われ財政的に実施が難しいと言われる多摩地域でさえやっている市がある。日本共産党は長年、無償化を求め続け一般質問や条例提案なども行ってきた。子育て世帯にとって経済的負担が大きいのしかかっている学校給食費は、義務教育は本来無償であるから、無償化されるべきである。



### 子どもの貧困対策の強化を求める

水上洋志  
(日本共産党)

子どもの貧困対策について。ア)そこに焦点を当てたニーズ調査を行わないか。イ)ひとり親家庭への家賃助成を実施しないか。部長 (ア)ひとり親家庭を対象にした調査を予定している。イ)住宅相談は福祉総合窓口につなげる。2)生活保護の改善について。ア)「電気代の値上げでエアコンを使っていない」という利用者がいる。夏季加算や見舞金などの支給を行わないか。イ)高齢者世帯などへのエアコン設置費助成を実施すべきではないか。



### 3・4・11号線/市内農産物のブランド力向上

河野麻美  
(自民党・信頼)

行政計画に、市長自ら率先して取り組むべきと定めた小金井3・4・11号線の整備は必要である。当該地域の通過交通の危険性軽減のため年間約400万、延べ約1億円を要し配置する交通誘導員を今後も継続する。イ)国分寺崖線に既に整備された都市計画道路2路線について、東京都の環境影響評価事例事後調査報告書によると環境に係る測定値は予定値を下回り環境が破壊された事実はない。道路整備ははげと野川の自然を破壊すると主張する根拠は。ウ)地域防災計画では都市計画道路の整備は都市



### 東小金井駅周辺の自転車置き場の増設を

森戸よう子  
(日本共産党)

東小金井駅近くの自転車の駐輪場が廃止され、市民から苦情が寄せられている。北口に出店する大型店舗の駐輪場を増やすことや、区画整理区域内のまちづくり用地の暫定使用などで増設しないか。市長 (ア)調整中である。部長 (イ)新しい交通量データに基づく検討が必要だと考える。3)人体に影響がある有機フッ素化合物汚染について、防衛省は米軍横田基地からの漏出を日本共産党のヒアリングで初めて認めた。災害井戸の検査、血液検査を行わないか。部長 (ア)現時点で検査を行う考えはない。



### 70年間で17億円のムダ こうすれば防げる

渡辺大三  
(子どもの権利)

新庁舎及び新福祉会館建設事業。市民案(見直し案)は、執務面積は減らさないで、地下駐車場や中間免震層で減らし、2千㎡の面積を削減する。現設計は建設費15億円だが、見直し案は91億円となる。70年間のライフサイクルコストでは、現設計は46億円、見直し案は36億円、差は10億円という大きな開きとなる。現設計のまま進めていくのは妥当なのか。私は是正すべきと考える。部長 (ア)面積を削減することにより、ライフサイクルコストも連動して減額するということには異論はない。



### 地域からの難民支援と精神障がい者の退院支援を

片山かおる  
(子どもの権利)

4月にできたアルベなんみんセンター小金井の把握は。鎌倉のなんみんセンターの活動の把握は。イ)「鎌倉なんみん共生フォーラム」を参考に地域での取組を。ウ)「難民を支える自治体ネットワーク」への参加を。エ)仮放免者、難民等の把握と支援を。オ)外国籍市民への支援を居住支援協議会の課題に。カ)外国籍児童への学校や保育等の支援体制を。キ)学校で難民問題に触れる機会を。部長 (ア)2020年に鎌倉に設立、難民シェルターとして住居、食事提供。今年4月に小金井に2つ目が開始。イ)後援などで支援。ウ)所管の整理など、できることから検討を進める。課長 (エ)確認できる仮放免者は0件。部長 (オ)意見として承る。多言語表記については研究。カ)学校ではスクールソーシャルワーカーが調整の役割。指導主事 (キ)小学校6年生の社会科で難民の話題に触れることもある。2)精神病院入院や施設入所後の生活保護利用者も含めての状況把握を。地域生活中心に。部長 (イ)医療保護入院だと把握できるが、任意だと把握できない。地域の暮らしの支援体制は協議会を立ち上げて議論していく。



## 委員会の視察先とテーマ

厚生文教委員会  
10月16日  
▽東京都調布市  
知的障害者援護施設について

議会運営委員会  
10月18日、19日  
▽岩手県滝沢市  
議員間討議について  
市民参加(議会モニター、議会サポーター、議会アドバイザー)について  
▽岩手県北上市  
政策提言について  
タブレット端末の活用について

建設環境委員会  
10月24日、25日  
▽愛知県名古屋市長古屋市  
名古屋交通計画2030の取組について  
▽愛知県蒲郡市  
ごみ減量への取組について

※過去の行政視察報告書は、議会図書室(本庁舎4階)または情報公開コーナー(第二庁舎6階)で閲覧できます。また、行政視察報告書を市ホームページで公開しています。